

第 97 回(H27 年度第 11 回)MT 委員会議事録

日時: 2016 年 3 月 18 日 10:30–11:45

場所: RIBF 棟 2F 小会議室

出席: 酒井^a(委員長)、福西^a、上垣外^a、加瀬^a、森本^a、久保^a、奥野^a、下浦^b、上野^a、上坂^a、上蓑^a、若杉^a、山口^b、羽場^{a,†}、吉田光^{a,†}、今井^{d,†}、田中^{a,†}、吉田敦^{a,†}、和田^c宮武代、米田^a

欠席: 延與^{a,†}、阿部^a、宮武^c、櫻井^a、森田^{a,†}、本林^{a,†}、大津^{a,†}、岸本^{a,†}

^aRNC / ^bCNS / ^cKEK / ^dRIBF-UEC / [†]Observer

(順不同・敬称略。以下同様)

【報告】

1. MT 実施状況(米田)

MT の実施状況について報告があった。前回 MT 委員会以降、MT は実施していない。3 月 24 日の生物照射実験から再開する。

2. MT 変更報告(米田)

MT スケジュールの変更について報告があった。RRC の RF 制御系の更新作業の時間を確保するため、以下の MT のスケジュールを変更した。

	(変更前)	(変更後)
RRC0702-AVF4-56(Abe)	3/17 9AM-2PM	3/24 9AM-2PM
IB0702-RRC01-98(Izumi)	3/17 2PM-3:30PM	3/24 2PM-3:30PM
RI0702-AVF4-56(Haba)	3/26 9AM-3/27 9AM	3/30 9AM-3/31 9AM
NP1312-RRC29-08(Hirayama)	3/19 9AM-3/21 9AM	3/26 9AM-3/28 9AM

3. 超重元素探索実験の今後の方針について(森本)

超重元素探索実験の今後の方針について報告があった。hot fusion を用いて GARIS2 で新たな超重元素を生成することを目指し、実験の計画を立てている。これまでの GARIS2 での 112 番元素観測実験で、GARIS2 の性能確認を完了した。今後、118 番元素の生成を通じて反応に関する知見を蓄積し、新超重元素である 119 番元素、120 番元素の探索へと進む。Ti, V, Cr のビームが必要になるが、イオン源開発は Ti に関してはミボックス法を用いて開発済み、V, Cr については現在開発中である。標的に使用する Cm については、増強する方針で準備が進んでいる。9 月に実施する Ti 実験一週間、V 実験一週間については、現在手持ちの Cm で実施可能である。

4. 平成 28-30 年度科学研究費助成事業 新学術領域研究(研究領域提案型)

『学術研究支援基盤形成』「短寿命 RI 供給プラットフォーム」について(羽場)

科研費『学術研究支援基盤形成』「短寿命 RI 供給プラットフォーム」について報告があった。RI を必要とする研究者に RI を提供することを通じて学術研究を支援する枠組みを、全国の加速器施設が協力して形成する事業で、阪大 RCNP を中心として科研費を申請し、平成 28 年度から 3 年間のプロジェクトと

して採択される見通しとなった。理研のグループとしては年間 6 件の RI 提供を新規に開拓することを計画している。対応して RI 製造に要求する MT の日数が最大 6 日増えることになる。

5. PAC 進捗状況(米田)

PAC の進捗について、以下の報告があった。

- ・ 17th NP-PAC:(12/1 - 3)

Call for Proposals は 7 月、課題申請締め切り 10 月上旬の方針。次回以降、課題提出締め切り後の差し替えは受け付けない。

- ・ 12th ML-PAC:2 月 16 日、17 日に開催した。
- ・ 4th In-PAC:1 月 13 日に開催した。

【議題】

1. 前回議事録承認(酒井)

2. 2016 年度上期 MT スケジュール(酒井)

2016 年度上期の MT スケジュールの案が ULIC から提示された。春の新施設の実験は、4 月 1 日に立ち上げを開始し、6 月末に終了する。4 月最初は ^{238}U で開始し、4 月 23 日の一般公開後 ^{124}Xe に切り替え、5 月 6 日にふたたび ^{238}U に切り替えて 6 月中旬まで実験を実施したのち、最後に ^{18}O の実験を実施して 6 月末を迎える。SAMURAI-TPC の実験が ^{238}U と ^{124}Xe で予定されており、SAMURAI での実験セットアップ切り替えの作業時間を確保するため ^{238}U を後に回している。RILAC 単独実験は、夏までに超重元素探索実験以外の実験をやり切り、夏期中断期間中に GARIS2 のセットアップを切り替えて次の超重元素探索に向けた実験へ移行する。その他旧施設の実験は、7 月、9 月を中心に割り当て要求のあったものすべて、要求を満たすように割り当てした。

審議の結果、ULIC 提案のスケジュール案を承認した。

3. FY2015 下期 SRC-BigRIPS MT 消化日数(米田)

2015 年 10 月から 12 月に実施した SRC-BigRIPS 実験の実施日数の詳細が報告された。各実験課題の消化日数を下記の通りとすることが提案され、承認された。

NP1412-RIBF124R1(Ichikawa) 6 days

NP1306-RIBF99(Daugas) 2.5 days

NP1312-SAMURAI21-01(Kondo) 11.5 days

4. FY2016 年間 MT スケジュール(酒井)

来年度の MT スケジュール概要の案が共用促進より示され、意見の聴取が行われた。新施設の運転費が「5 ヶ月分」と確定したことを受け、春は 4/1 から 6/30 までの 3 ヶ月間、秋は 10 月の停電後から 12 月にかけて運転費で実施できる分実施する。下期の MT 割り当て募集は 6 月に開始し、7 月に大筋決定する方針で進める。委員の間からは特に意見は寄せられなかった。

5. 次回以降 MT 委員会の日程

- 次回 MT 委員会は 4/19(第 3 火曜日)15:00 – で調整する。
- 次々回 MT 委員会は 5/17(第 3 火曜日)15:00 – で調整する。

(以上)